

このたびは、医療的ケア児モデル訪問看護推進モデル事業の研修を実施いただき、誠にありがとうございました。

研修実施前は、医療的ケア児と高齢者の訪問看護ではさまざまな違いがあるのであろうと漠然と思っていました。あまりにも漠然としていて、どのように準備したらいいかわからないと思い、研修に参加しました。

実際研修に参加して、保険システムや器材の違い、多職種の中に教育者が参加すること、兄弟児への対応など高齢者の訪問看護との違いがよく分かり、大変勉強になりました。

その上で訪問看護として考えれば、医療的ケア児の訪問も高齢者の訪問看護も利用者様のご自宅で「安心で安楽な生活」を支援する基本は変わりがないこともよく分かりました。

同行させて頂いたくれよんの看護師さんは医療的ケア児のご両親の個別性を踏まえて指導されていたり、兄弟児との関わりにも心を寄せている姿勢に、高いコミュニケーション能力を実感しました。

入浴後の排痰ドレナージで利用者さんを抱っこさせて頂き、御指導くださった看護師さんも「たくさん触ってあげてね。」と先輩看護師から指導されたエピソードを伺いました。どの子もとてもかわいくて、私も是非医療的ケア児を訪問したいと思いました。

今後は、ステーションの中で少しずつ医療的ケア児の訪問看護に関わりながら、より地域医療に貢献できるように研鑽を積んでいきます。文末になりましたが、当日御指導いただきました3名の訪問看護師さん、くれよんのスタッフの皆さん本当にありがとうございました。